

2020年（令和二年）3月30日

報道関係者各位

株式会社 **オリコム**
代表取締役社長 大塚 尚司

『オリコムが埼玉高速鉄道車内において、
世界初※1のダイナミックDOOH展開を実施。

サッポロビールの各商品ブランドを使って、各ビジョン前に乗車し
ている人々の属性により、広告素材の出し分けを実現。』

株式会社オリコム（本社：東京都港区、代表取締役社長：大塚尚司、資本金1億6,500万円）は、サッポロビール株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：高島英也、資本金100億円）のビール「サッポロ生ビール黒ラベル」「エビスビール」及びチューハイ「サッポロチューハイ 99.99<フォーナイン>」等の各広告を、埼玉高速鉄道（本社：さいたま市、代表取締役社長：荻野洋、資本金1億円）の車内ドア上に設置されたビジョンにおいて、その媒体を視認できる範囲にいる属性毎に素材を出し分ける広告放映を展開する。

具体的には、車内ビジョンの前に立っている人の「男女比が多いほう」「もっとも多い年代」などを判別し、予め指定してある素材を流すようにプログラムする。

今回使用するデジタルサイネージ「ダイナミックビークルスクリーン」は、株式会社ビズライト・テクノロジー（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：田中博見、資本金：4,200万円）が開発し、カメラとIoT機器を搭載することでリアルタイムにビジョン前にいる属性に応じて動的に広告を切り替えることが出来るダイナミックDOOH（Digital Out Of Home）展開を可能にしている。今後も様々な環境変化に応じて活用していく。

※1 2020年3月30日現在 ビズライト・テクノロジー社調べ

<実施概要>

□実施媒体：埼玉高速鉄道 新型車両ビジョン『ダイナミックビークルスクリーン』

*浦和美園駅（さいたま市）から東京メトロ南北線で東京都心部を經由し、東急目黒線日吉駅（横浜市）までを縦断する首都圏の主要路線であり、これら3社を運行する車両のおよそ3分の1が埼玉高速鉄道の車両となります。

□実施期間：2020年3月30日～4月5日

*2020年4月より本格広告運用開始予定



リリースに関するお問い合わせは、下記までお願いいたします

株式会社オリコム 経営企画局 山本理文

TEL. 03-6733-2021

<https://www.oricom.co.jp/contact/index.php?category=9>